世田谷区深沢小学校__児童ワークショップ

■開催日　：2026 年 6 月 9 日

■参加者　：深沢小学校 6 年生全員
：世田谷区施設整備課　船田　二宮　久津輪　河野
株式会社久米設計　斎藤　矢野

■テーマ

聞いて考えを深めよう！

自分にとっての深沢小学校の好きなところについて、学校に関わっている大人の人にインタビューをして聞いたことや考えたことを友達と伝え合おう。

■概要

国語の授業の中で、児童一人ひとりが「深沢小学校の好きなところ」をテーマに考えます。その後、テーマに関連する学校関係者へのインタビューを行い、聞いたことや感じたことを整理します。ワークショップ当日は、グループごとに調べた内容を発表し、互いに質問や意見交換を行うことで、学校への理解や新たな気づきを深めます。

■ワークショップ当日の活動風景

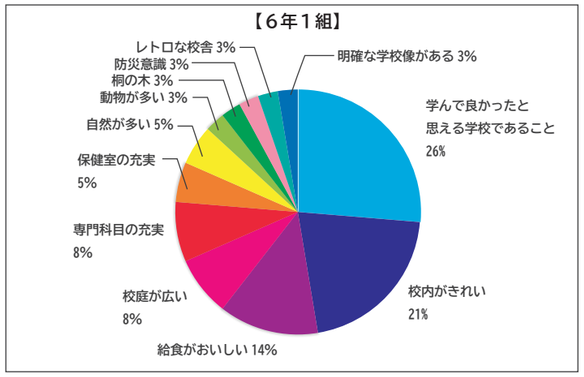

いつもと違う状況に緊張しながらも先生の話に耳を傾けている様子

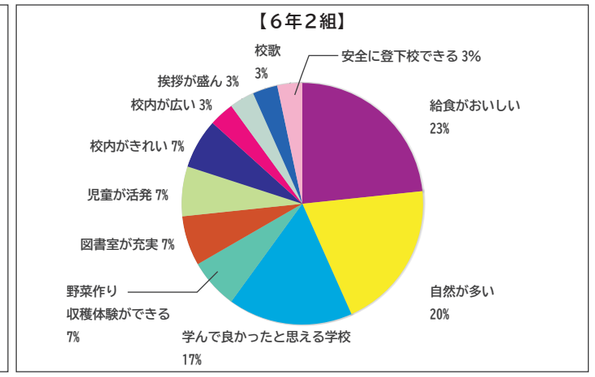

校長先生や担任の先生も見守る中、グループ内で発表する様子

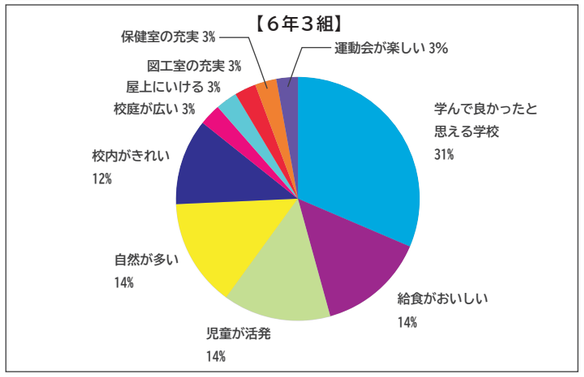

区職員、設計事務所担当者を交えながらの発表者に質問する様子

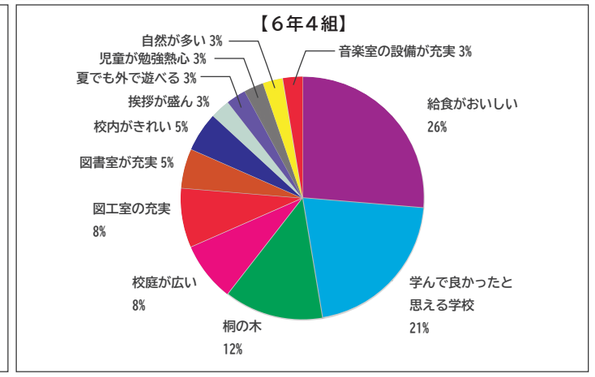

友達と意見を交換し合い積極的に取り組んでいる様子

■「深沢小学校の好きなところ」に対する意見









■WS 意見のうち、学習空間や生活環境に関する意見

■校庭・屋外環境
・世田谷区内有数の校庭の広さは学校の大きな特徴である。
・一年中花が咲き、季節を感じられる環境となっている。
・桐の木は学校のシンボルであり、夏には日陰をつくる役割も果たしている。
・自然や生き物に触れられる農園・収穫体験を重視している。
■校舎・居室
・専門科目（図工・家庭・音楽）が充実していると感じる児童が多数。
・図書室の蔵書数は約 14000 冊であり、複数の児童にとって安心して過ごせる場所となっている。
・屋上は社会科の東西南北学習といった授業で活用する場になっている。
■安全・維持管理
・登下校時の見守り活動、校舎内のあいさつなどコミュニケーションが活発なところが、児童の安心や活力につながっている。
■給食
・給食がおいしいという回答多数で、食育が盛ん。
■職員同士のコミュニケーション
・学年や専科を超えて、先生同士の連携体制が整っている。
■地域とのつながり・学校への愛着
・銀杏祭り、桐の木など自然環境が地域活動とも結びついており、学校文化になっている。